

2 会津坂下町人権教育実践の記録

(4) 資料

- ① 「一つの学園構想」リーフレット
- ② 会津坂下町「学びのスタイル」
- ③ 「人権感覚」教職員チェックリスト



町の教育基本理念

生きる喜びを育む教育

～「学びあう」「競いあう」「認めあう」子どもの育成～

人と人、幼稚園・学校間のつながりで、子どもの「育ち」と「学び」をつなぐ

幼小小連携
「国」の世界から「学」の世界へのスムーズな連携し

小・中連携
国が大切にしている「学び」をつなぐ教育は盛りだくさんです。
家庭、図書館、小規模保育施設、幼稚園、学校、地域、行政がそれぞれの役割を大切に、一歩の連携を続けるから、未来を担う「各学年下の子ども」を育てていきます。

幼・中連携
運動体験やフンチング活動等の機会を生かした幼稚園、生徒間の交流

小・中連携
国が大切にしている「学び」をつなぐ教育は盛りだくさんです。
家庭、図書館、小規模保育施設、幼稚園、学校、地域、行政がそれぞれの役割を大切に、一歩の連携を続けるから、未来を担う「各学年下の子ども」を育てていきます。

子育て支援日本一を目指した

「一つの学園構想」

～子どもの「育ち」と「学び」をつなぐ会津坂下町の教育～

会津坂下町立坂下小学校
<http://www.town.atsutaba.jp/education/primary/atsuta.html>

会津坂下町立坂下中学校
<http://www.town.atsutaba.jp/education/secondary/atsuta.html>

会津坂下町立坂下南小学校
<http://www.town.atsutaba.jp/education/primary/south.html>

会津坂下町立坂下東小学校
<http://www.town.atsutaba.jp/education/primary/east.html>

会津坂下町立坂下南幼稚園

会津坂下町立坂下東幼稚園

会津坂下町教育委員会

「一つの学園構想」の柱

“一貫性” “共通性” “継続性” で「育ち」と「学び」をつなぐ

望ましい生活習慣(4つの習慣)づくり

① 規則正しい生活習慣づくり

早起・早寝・早起き・朝ごはん(規則)の他、毎日により、豊かな生活習慣を身につけていきます。



② 家庭学習習慣づくり

学ばなければならないことを自ら学ぶ習慣を身に付けさせます。



③ 読書習慣づくり

家庭・地域と連携して読書で知やメディアコントロール(※1)の活用を促し、読書の習慣を身に付けさせます。



④ あいさつ習慣づくり

家庭・学校と連携し、地域との連携による「あいさつ習慣」等の育成、様々な場面において挨拶ができる子どもを育てます。



基礎学力の定着・向上

① 学び楽しさを覚える「学びあふ授業」の実践

日々の授業を主体として、学び楽しさを覚える「学びあふ授業」を実践します。



② 特別支援教育の充実・強化

本学部の特別支援科による個別の丁寧な指導により、特別支援科生が学ぶことと特別支援科の充実・強化を図ります。



③ 教職員の指導力(保育力・授業力)向上

研修の方式、研修内容(※2)の活用等により、教職員の指導力を向上させます。



④ 「基礎学力向上推進会議」の機能化

学力向上の仕組みづくりに向け、部会全ての教員が所属する会議の機能化を図ります。



健康でたくましく心と体づくり

① 道徳教育の充実

学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実に向け、思いやり(心)、助けあふ心、せまさを守る心(道徳教育)を育てます。



② 食育の充実

給食費・学食(学校給食センター)と併せ、家庭で実践している食育の充実を図り、健全な食生活習慣を身に付けさせます。



③ 体力づくり

幼稚園・学校の体力向上に向け、部会に基づいて取組を進めるとともに、「泳ぎ」(※3)、柔剣道、子どもへの体力向上を図ります。



④ 健康教育の充実

健康教育推進委員は、「自然の恵み、笑顔、感謝、フットワーク、夢の管理」による健康教育と健康増進を図ります。



中学校期 小学校期 幼稚園期

十二年間を見通した、教育の展開

幼稚園 小学校 中学校
 幼稚園・学校で、3つの柱・12項目を意識した取組を推進

※1 学力向上推進会議
 ※2 研修内容
 ※3 泳ぎ

家庭・保育所・小規模保育施設 ◇「一つの学園構想」の取組の基盤を作ります。

会津坂下町「一つの学習模型」/ 課題の柱
 「1 基礎学力の定着・向上」
 ① 学ぶ楽しさを実感する「学びあう」授業の実践

会津坂下町「学びのスタイル」

会津坂下町基礎学力向上推進会議
 会津坂下町教育委員会

教科や学年、学習内容によって応用しながら実践します。

過程	学習活動・児童生徒の姿	指導のポイント	
導入	◎ 課題の意識化 → 学習課題・学習のめあて（本時のゴール）をつかむ（何が、どのくらいできるよくなればよいのかが分かる） → 追究する価値があると感じ、追究しようとする意欲がわく	○ 問いや学習意欲を引き出す教材提示や活動の工夫 ○ 「先生の教えたいこと」から「児童生徒の学びたいこと」へ ○ 学習課題・学習のめあての提示	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold; color: orange;"> 小・中共通実践事項 これだけは！ </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 学習課題・学習のめあての明示 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 教師のコーディネート </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 5K 「活躍させる」 「共感・共有させる」 「比べさせる」 「決定させる」 「声を出させる」 ● 思考を働かせる活動や発問により、考えをつなげる・広める・深める <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の考えやその続きを考えさせる ・ 発表の内容について、もう一度説明させたり書かせたりする ・ 意見の相違点、同じ意見の中の根拠の相違点を吟味する 等 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「どういうこと？」 （事実・事柄） 「どうやって？」 （方法・手順） 「どうして？」 （理由・根拠） </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 思考力を育てる構造的な板書 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの思考の過程を残す ● 色分け、矢印、吹き出し、アンダーライン等で思考の流れを可視化する
展開	◎ 課題に対する見通し（予想）をもつ → 予測し解決の方法や見通しを持つ（ゴールに向け、「何を」「どう」考えていくのかが分かる） ◎ 自力解決する → 既習事項等を生かして考えていこうとする → 自分の考えを持つ（書く） → 考えの根拠を持つ	○ 見通しを持たせる手立ての工夫 ・ 既習事項の活用 等 ○ 自分の考えを持たせる時間の確保 ○ 個に応じた指導・支援 ・ 自力解決が早く終わった子どもへの指示 ・ 自力解決が不十分な子どもへの支援 ・ その後の授業へ生かす、意図的な机間指導 ・ 一人ではできない場合は、困ったことを共有させたり、友達と交流させたりする。	
深める	◎ 学び合う ○ 考えを共有する → 自分の考えと比べながら友達の考えを聞いたり、意見を述べたりする。 → 思考過程や結果を共有する ○ 考えを吟味する → 自分や友達の考えの中からよりよいものを吟味し合い、自分の中で再構成する ◎ 教科によっては、適用問題を解く	○ 目的、内容、時間に合わせた形態の工夫（ペア・小グループ、学級全体等） ○ ペア・小グループ学習を機能させるための経験の積み重ね ○ 話し合いの視点の明確化 ・ 意見（考え）の正否 ・ 根拠の適否 ・ 理由の適否 ○ 考えをまとめる	
終末	◎ 学習の振り返りと変容の自覚 → 学習課題・学習のめあてに沿って、自分の言葉で振り返る → 自分の達成度・理解度を判断する → もっと学習したいことや新たな疑問を見つける	○ キーワードの提示 ○ 振り返り ・ 何を（内容）、どのように考え（思考過程）、そこから何を理解し（意味）、何を見いだしたか（価値）の実感 ・ 友達と学ぶよさの実感 ○ 次時への意欲付け	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> まとめる </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「学習課題・学習のめあて」に沿って、自分の言葉でまとめさせる

家庭学習

◎ 「授業の学びが生きる」「学習課題につながる」学習等で、**授業と宿題をつなぐ**

総合性

会津坂下町「学びのスタイル」を意識した授業の実践 振り返り表 (H30年度版)

視点	チェック項目	チェック			
		1 できていない	2 ほぼできていない	3 ほぼできている	4 できている
教師の構え (よりよい学習 集団づくり)	①学びのルール(始まりのあいさつ、返事、声の大きさ、本音をフォローする声かけ 等)を大事にし、学習内容の理解を含め子どもの状態をこまめにそろえ(書くのをやめましょう、前を見ましょう、〇〇するのを見ていましょう 等)ながら授業を行っているか				
	①教材提示や活動を工夫し、子どもが学びたい課題・めあてを持たせていることができるか				
教師のコーディネート	活躍させることができるか				
	① 5 授業の Kを つを 大に 事し かした				
	共感・共有させることができるか(うなずき、つけたし 等)				
	比べさせることができるか				
	決定させることができるか				
思考力を育てる構造的な板書	声を出させることができるか				
	②思考を動かせる活動・発問で、考えを“つなげたり”“広めたり”“深めたり”できているか(学びあい)				
まとめ	①子どもの思考の過程を残した板書になっているか(色分け、矢印、吹き出し、アンダーライン等)				
	②めあてとまとめの整合性を図り、自分の言葉でまとめさせているか(振り返り)				

- 授業等に纏ったり、教卓のデスクマットに挟むなどして、日々の授業の振り返りにご活用ください。
- 各校で、定期的にアンケートを行い、現状を把握する目的にご活用ください。

人権感覚 教職員チェックリスト

～ あなたの人権感覚をチェックしてみましょう ～

会津坂下町教育委員会

教師と子どもとの関わり

【確かな幼児・児童・生徒理解に基づき、一人一人を大切にした指導を行っているか】

チェック	No.	内 容
	1	登下校、登降園時に、幼児・児童・生徒に率先して言葉掛けをし、温かく送り迎えをしているか。
	2	朝の会等で、幼児・児童・生徒の心身の健康状態、様子、変化をしっかりと把握しているか。
	3	幼児・児童・生徒が、互いの意見や作品等のよさを認め合うことができるような具体的な取組を行っているか。
	4	板書をする時の文字の色や大きさ等、見えにくくならないように配慮した板書を心掛けているか。
	5	幼児・児童・生徒のいじめ等による変化を見逃さず、学年や学校全体で情報を共有できるよう報告等をしているか。
	6	幼児・児童・生徒に対し、一方的な思い込みや偏った見方ではなく、確かな事実や根拠を基に指導しているか。
	7	欠席した幼児・児童・生徒に対し、学校からの連絡内容が確実に伝わるよう配慮しているか。
	8	体罰や不適切な行為を未然に防止するために、日常の指導の在り方について相互に点検を行っているか。
	9	幼児・児童・生徒に対してセクシャル・ハラスメント等をおこさないように、教師間で確認し合いながら自己点検を行っているか。
	10	幼児・児童・生徒の名前を呼ぶ時に、敬称をつけて呼んでいるか。
	11	幼児・児童・生徒を指導する際、人格を否定するような注意はしていないか。
	12	幼児・児童・生徒同士やきょうだいと比べて、誉めたりけなしたりしていないか。
	13	幼児・児童・生徒の欠点を見つけようとせず、よさに目を向けるように努力しているか。
	14	「がんばれ」ばかりでなく、「がんばっているね」など、幼児・児童・生徒の努力を認める言葉がけを行うよう心掛けているか。
	15	幼児・児童・生徒同士の相手に嫌な思いをさせるような言葉や暴言、あだ名での呼び方等を見過ごし、黙認していないか。

教室環境

【一人一人の幼児・児童・生徒を大切にするという視点で、教室の整理・整頓をはじめ、掲示物や物品等の教室環境を整えているか】

チェック	No.	内 容
	16	幼児・児童・生徒の作品に誤字・脱字があった場合、修正をさせてから掲示しているか。
	17	教室や廊下の黒板や壁などに落書きや破損等がないよう気をつけているか。
	18	忘れ物などをした幼児・児童・生徒の名前を目のつくところに書き出していないか。
	19	教室は、学習がしやすいように整理・整頓されているか。
	20	学習で使用する教材・教具や設備等を誰もが公平に使えるように配慮しているか。